

政策整理番号 26

評価シート(A) (政策評価:政策を構成する施策の評価)

対象年度	H18	作成部課室	環境生活部 生活・文化課	関係部課室	教育庁 文化財保護課
------	-----	-------	--------------	-------	------------

A-1-1 政策と施策の関係・施策の体系

政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	政策番号	3 - 8 - 1
-----	---------------------	------	-----------

政策概要 余暇時間の増大や価値観の多様化を背景として文化や芸術への関心が高まっていることを受け、地域の誇りとなる文化・芸術の振興や保存を目指します。

施策番号	政策を構成する施策名 施策の概要	政策評価指標	達成度	社会経済情勢を示す データの推移
1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用 先人から引き継がれてきた文化遺産や生活に息づいている文化を、保護、保存、活用し、次代に引き継ぐことを目指します。			
2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり 豊かでうまい生活を実現するため、音楽や演劇、美術、文学などの優れた芸術作品に、身近に接することができるような環境づくりを目指します。	県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)の参加者数 H17 941千人 H18 963千人
3	県民が行う創作活動や表現活動への支援 創造的な営みを通していきいきとした暮らしを実現するため、県民が自ら行う創作活動や表現活動を支える体制づくりを目指します。	県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)の出品者・出演者数 H17 37千人 H18 34千人
4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用 地域の食材を生かした個性的な食の伝統を継承・活用し、豊かでゆとりのある食文化を醸成する取組を支援します。			
5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成 新たな文化・芸術を創造し、文化・芸術活動を活発にする土壌を作るため、次代を担う人材の育成を目指します。			
6	海外との文化交流等の推進 海外との文化交流や異なる文化の融合などにより、新たな文化が生み出される環境づくりを目指します。			

政策評価指標の達成度:A(目標値を達成している)、B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している)
...(現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の詳細は各施策の「政策評価指標分析カード」を参照してください。

A-1 施策群設定の妥当性

適切

【評価の根拠】 各施策が政策の目的に沿っているか、社会情勢から見て必要か、重複や矛盾がないか
・政策の目的に合った施策群であり、ライフスタイルの変化や団塊世代の大量退職など社会情勢から見て、文化芸術活動に対するニーズはますます高まっていくことが予想され、矛盾はない。

A-2 政策評価指標群の妥当性

政策評価指標については「政策評価指標分析カード」もご覧ください。

課題有

【評価の根拠】 各政策評価指標は施策の有効性を評価する上で適切か
・昨年、行政評価委員会政策評価部会から指摘があったとおり、政策評価指標については、施策番号2と3が同じ指標であり、「文化の鑑賞と参加を一つの指標で判断することは困難である」とから、「社会経済情勢を表すデータ」に記載した指標を新たな指標とする予定(「みやぎの将来ビジョン」における指標とも整合性を取る。)

A - 3 施策の有効性 概ね有効

施策番号	施策の有効性	【評価の根拠】 「政策評価指標の達成度」及び「社会経済情勢を示すデータの推移」から見て施策が有効か
1		
2	概ね有効	・「県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数」は前年及び目標値を下回ったが増加基調にある。また、ライフスタイルの変化や団塊世代の大量退職など社会情勢から見ても、多くの県民が優れた文化芸術活動に触れることのできる機会を増やすことについては大きなニーズがあり、施策として概ね有効と判断する。
3	概ね有効	・「県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数」は前年及び目標値を下回ったが増加基調にある。また、ライフスタイルの変化や団塊世代の大量退職など社会情勢から見ても、多くの県民が創作活動・表現活動を発表することのできる場を充実させていくことについては大きなニーズがあり、施策として概ね有効と判断する。
4		
5		
6		
政策全体	概ね有効	・政策評価指標は前年及び目標値を下回ったが、概ね増加基調に推移していることや社会情勢から見て、2施策とも概ね有効と判断した。

A 政策評価(総括) 概ね適切

<p>【評価の根拠】 A-1, 2, 3を総括し政策を総合的に評価</p> <p>・社会情勢から見て、政策の必要性は高いと判断する。また、施策の設定は適切であり、政策評価指標及び社会経済情勢から見てある程度有効性が確認できるので、政策は概ね適切であると判断する。</p> <p>【課題】 この政策(各施策)における今後の課題等を記載</p> <p>・予算的な制約の中で、より多くの県民が文化芸術に触れる機会を提供できるよう、更に効果的な事業の展開が求められている。</p>
--